

日本 萬歳 百撰 百笑

骨皮道人

。踏潰し
の歌

潰さるゝゝゝ。滅多矢能ふ踏潰せ。
 踏ひしゝゝゝ。踏ひ面かゝゝゝ。
 えゝゝゝ。身か海ゝ。錯ゝゝ。
 是を餘ゝゝ。中意氣や。罰ゝゝ。
 今更後悔ゝゝ。後の咎や。はゝゝ。
 くら敵對ゝゝ。丸を砕ゝゝ。
 陸地成敵ゝゝ。平壤も。踏潰し。
 又軍艦ゝ十餘艘。美事ゝ。沈めては。舞う。
 小やちゝ。覚悟せ。是か。だん。大膽よ。
 満州ゝ。奉天府。この。誇り。南。東。
 小やゝゝ。潰す。北。京。も。潰す。



りあ
画

日本
萬歲
百撰
百笑

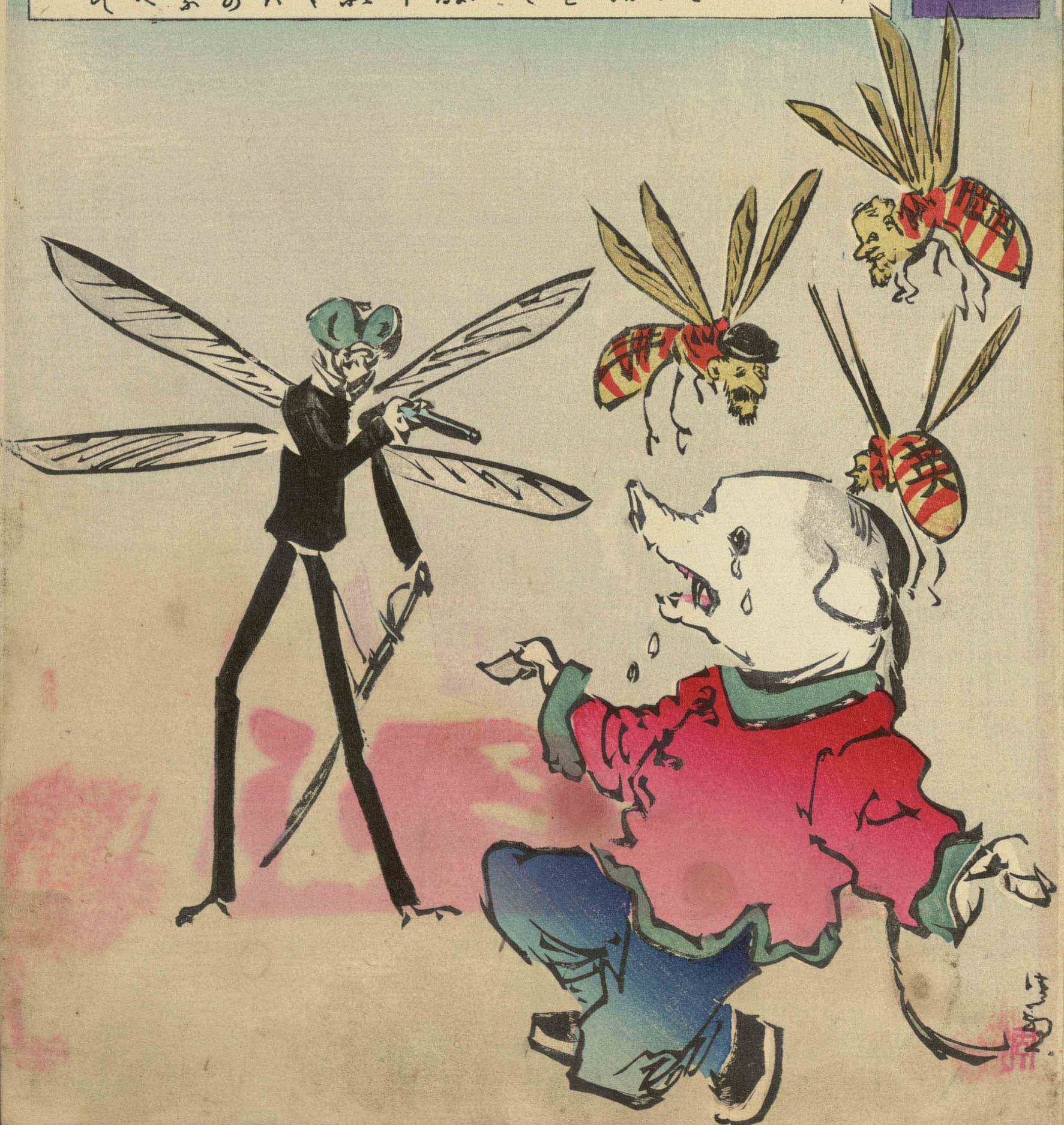
清代限り 骨皮道人
 サア負す、減茶との大員を買す、
 何一とては里も品も無けを、十人並橋ッ
 たのもせ、どうせり、斯う成りやア十把
 一本、一束、この文の大安、一目、早くちやん
 くと片附、元の唐ッ穴、ある、覚悟で
 する、皆、ドレ、と見、切、信、界、す、尤も
 中、壁の通り、大連、枕、渤海、旅、順、索、と
 始め、奉天、誘、お、琴、する、す、目、甲、つ、ま、い
 荒、方、大、和、屋、さん、が、お、引、取、成、り、す、る
 係、定、代、の、寶、と、居、る、額、鼓、変、靴、大、注
 螺、無、鉄、砲、出、砲、基、乱、棒、化、質、棒、半、孔、半、鐘
 の、頼、も、中、省、負、切、れ、を、海、空、破、つ、居
 ます、サア、何、です、残、り、お、も、不、具、が、あ、る、と、お、到
 ち、ア、ん、ご、宣、い、金、の、の、地、面、廣、い、と、是、ま、う、い
 餘、横、柄、を、面、と、る、こ、も、ん、ご、ら、其、對、面
 り、と、と、り、清、代、持、切、を、成、り、や、ア、ら、い、
 さん、に、持、ち、予、氣、を、面、と、ガ、ア、く、は、さ、ん、如、何
 です、何、品、を、お、求、め、成、す、て、も、残、り、笑、れ
 附、き、決、く、開、化、振、座、を、や、ん



日本百撰百笑

○豚の當惑 骨皮道人

蜻蛉「サアどういふ此處まで追詰めぬ何れ何れ蛆虫
 同様の豚奇ど少し痛いの痒いの感
 さらさらまゝお傲慢な面附で居る知るか
 だも斯うお者へ喰さるゝ焼く喰さるゝ
 け方の勝も豚「まアもう元と乳を私に
 ああどういふことか 彼の鶏と一嘗かへ腹を肥さるゝこの方
 万ある座いすゝこのあが世界と
 伸く入らるゝも方様と弱虫とん扱つ
 も向いをはゝるゝ私に何を思ふ
 すゝ定めお腹をまませうが何様お流書
 せん差あつたらういふ所のとせ守る所
 勘弁下さるゝとどうぞ命を助けて
 ひまうそれいふう豚首再這尻尾と
 お籠と致さるゝ佛の蜂「まア貴が自己の方
 何れも括るゝ露の蜂「自己の方どうするの
 じ英の蜂「自己の方何れも早く片と附
 ひとけ剣を利殺すを豚「この面所へ
 又いさう四方八方を攻まらるゝりあはるゝ
 葉や佛の團り果すゝ」



日本 萬歳 百撰 百笑

○ぶし 退将 骨皮道人

軍用金と誤魔化しなうかうで撥ちあふ出
て来し口先でこそ強きうあるを云て居
せど、其実風多鶴喉まの悔しとて、其根
合をわね「コニコラ」のかりら、あつろ

「ろ……い……ろ……い……ろ……」日本兵が
強きうとて、乃公附く、居れば
「大丈夫……」と進め……

「……」と、怖くて「ア……」
出の……「……」弱虫……

「……」と、あつろで、ニ……
「……」と、居……

「……」と、進め……
「……」と、思……

「……」と、あつろで、居……
「……」と、あつろで、居……

「……」武者ぶ……



社會百撰百笑

骨皮道人

[illegible]